

令和 8 年度（2026 年度）

岐阜大学大学院自然科学技術研究科  
気象データアナリスト養成プログラム  
募集要項

申請受付期間：	令和 8 年 2 月 6 日（金）～令和 8 年 4 月 6 日（月） （社会人向けプログラムと受付期間が異なります）
選抜審査面接：	令和 8 年 4 月 7 日（火）
受講者発表：	令和 8 年 4 月 8 日（水）
プログラム期間：	令和 8 年 4 月 13 日（月）～令和 10 年 3 月 25 日（土） （2 年間：社会人向けプログラムと期間が異なります）

令和 8 年 2 月 6 日

岐阜大学大学院自然科学技術研究科

## 気象データアナリスト養成プログラムの目的と意義

気象や気候はさまざまな産業や社会に大きく影響し、気象データや気象情報は防災情報としてのみならず様々なビジネスや社会課題の解決に利活用できます。しかしながら、企業の多くは、経験と勘に頼り、現場で気象データを十分に利活用できていないのが現状です。Society5.0の実現のために、ビッグデータである気象データを高度なデータサイエンスと組み合わせて、地域産業の新規ビジネス創出や地域社会の課題解決に貢献できる高度人材「気象データアナリスト」の育成が求められています。

本プログラムは、気象データをビジネスや地域課題の解決に活用するために必要となる「気象データ理解力」「IT 活用力」「ビジネス課題解決力」を兼ね備える気象データアナリストを養成するためのプログラムです。本プログラムは、経済産業省「第四次産業革命スキル習得講座」および気象庁「気象データアナリスト育成講座」の認定を受けています。自然科学技術研究科エネルギー工学専攻および環境社会基盤工学専攻のいずれかの専攻に在籍し、本プログラムを履修する学生は、社会人の履修生と共に特色のある教育プログラムを通じて、

- 様々な気象要素や気象現象を理解し、気象データリテラシーを習得します。
- 気象データをサンプルとして統計分析や機械学習の原理と処理の過程を習得します。
- 様々な気象データの特性を理解し、収集・デコード・可視化の過程を習得します。
- 気象データとオープンデータをかけ合わせた分析を行い、気象データに基づく意思決定を実践します。

本プログラムを修了した学生には、自然科学技術研究科長より「岐阜大学気象データアナリスト養成プログラム修了証書」が授与されます。

## 気象データアナリスト養成プログラムの概要

本プログラムの学生は、所属する専攻の修了要件を満たすとともに、自然科学技術研究科規程別表第11に定める単位を修得するものとする。本プログラムは、以下の全8科目（1科目＝8コマ）から構成されます。

「気象学特論Ⅰ」

「気象学特論Ⅱ」

「気象データサイエンス論Ⅰ」

「気象データサイエンス論Ⅱ」

「気象データ基礎Ⅰ」

「気象データ基礎Ⅱ」

「気象データ応用Ⅰ」

「気象データ応用Ⅱ」

前学期（4月～8月前半）と後学期（10月～2月前半）の1年間を通じて、合計96時間の授業を全てオンライン・オンデマンドで受講します。大学院生は、上記の8科目の受講に

加えて、所属する専攻・領域の規定の科目を修了することで本プログラムの修了となります。

## 1. 募集人数

大学院生：10 名程度

## 2. 講習費用

追加講習料なし

- ・ 講習料は、正規課程の大学院生（修士課程）として収納される検定料、入学料、授業料に含まれているものとします。

## 3. 受講申請資格

この講座は岐阜大学大学院自然科学技術研究科の教育プログラムとして実施されるため、申請者は下記の条件に該当する必要があります。

- ・ 令和 8 年 4 月より自然科学技術研究科の修士課程に在籍する入学者。
- ・ 修士課程の指導教員に本プログラムの受講許可を得た者。

なお、名古屋大学大学院工学研究科の修士課程に令和 8 年 4 月より在籍する入学者は、岐阜大学大学院の教育プログラムに参加することはできませんが、受講した科目を名古屋大学大学院の単位として算入することができます。受講を希望する方は、「8. 問い合わせ先」の岐阜大学工学部附属応用気象研究センターの事務局にお問い合わせください。

## 4. 受講要件

申請者は、以下の①～④の全てを満たしていることを受講の必須要件とします。

- ① プログラム参加について指導教員の承諾を得ていること。
- ② 1 年間を通じて全ての講座を受講できること。※1 ※2
- ③ Windows 11 以降の OS を搭載した自分もしくは研究室で所有するパソコンを用意できること。※3
- ④ ③のパソコンを高速インターネット回線に接続して受講できること。
- ⑤ ③のパソコンにデータ保存用の大容量ハードディスクを準備できること。※4
- ⑥ 修了時アンケート調査と修了後フォローアップ調査に協力できること。

- ※1: 全てオンライン・オンデマンド形式で受講できます。オンライン・オンデマンドとは、受講生が好きな時間に好きな場所から受講（Microsoft Teams 使用）できる授業を指します。対面でリアルタイムに授業に出席していただく必要はありません。
- ※2: 後学期（10月～2月）の「気象データ応用 I/II」では、授業の受講だけでなく、グループワーク（オンライン）に継続的に参加していただく必要があります。
- ※3: 多量な気象データ処理を行うため、可能な限りハイスペックなパソコンを用意できることが望めます。ハードウェア要件の目安として、「OS：Windows11(64bit)以上、CPU：Intel Core i5/i7（第10世代以降）または AMD Ryzen 5/7（3000 シリーズ以降）、メモリ：16GB 以上（推奨：32GB）、ストレージ：500GB 以上（推奨：1TB 以上）、Web カメラ：有、マイク：有、スピーカー：有」となります。他の OS（Mac OS や Linux など）を搭載したパソコンでも利用できますが、環境構築や動作確認は各自の責任で対応していただきます。上記要件を満たさない場合でも受講自体は可能ですが、処理時間の増大や一部演習の実行が困難になる場合があります。尚、ノート PC・デスクトップ PC いずれも可とします。
- ※4: ハードディスクは 500GB 以上の容量を有することが望めます。外付け・内蔵いずれでも可とします。

また、申請者は、以下の①～④の全ての知識・技術を有していることを受講の推奨要件とします。

- ① 高等学校の数学・物理・化学の知識
- ② 大学初年次の微分積分や線形代数の知識
- ③ 言語は問わないが、プログラミングに関する知識・技術
- ④ Microsoft Word、Excel、PowerPoint による基本的な情報処理の知識・技術

上記の受講要件等についての詳細は、「8. 問い合わせ先」の岐阜大学工学部附属応用気象研究センターの事務局にお問い合わせください。

## 5. 受講申請手続

### (1) 申請期間

令和8年2月6日（金）～令和8年4月6日（月）16:00（ゲストバウチャー発行）

令和8年2月6日（金）～令和8年4月6日（月）23:59（申請書類提出）

### (2) 提出方法

申請書類の提出は、以下の手順でオンラインによる提出のみを受け付けます。

1. 申請様式をホームページより入手し、「5. (3) 提出書類」の一式を作成してください。申請ファイルにはパスワードによる保護はかけないでください。

2. 申請書類の提出は、ファイル転送用のゲストバウチャー（NII FILESENDER）の発行が必要となります。ゲストバウチャーは、以下のサイトで発行してください。

<https://forms.office.com/r/QJXu0vyYtX>



発行には1～2日程度を要することがありますので申請書類の提出前に余裕を持って手続きをしてください。ゲストバウチャーの発行期限は2月6日（金）～4月6日（月）16:00 までです。尚、ゲストバウチャーの発行申請だけでは、申請書類提出にはなりませんのでご注意ください。

3. 事務局より送付されるゲストバウチャーのバウチャーリンクをクリックして「5. (3) 提出書類」の全てをドラッグ&ドロップして、件名「受講申請（申請者のお名前）」メッセージ「空欄」の状態申請期間内に「送信」ボタンを押して下さい。送信の際には、「ファイルを暗号化してより安全に送信する」のチェックボックスにチェックを入れないでください。これにより申請書類の提出が完了します。尚、バウチャーによる送信回数は1回に制限されています。提出書類の再送信・差替えは原則不可とします。同一人物によるゲストバウチャーの複数回の発行は原則認めません。
4. 事務局より、申請書類の受領確認のメールを送りますのでご確認ください。

### (3) 提出書類

受講申請書（様式-1M）、志望理由書（様式-2M）、および、受講要件等チェックリスト（様式-3M）

- ・ 専用の Word ファイル（wda\_application\_mc2026.docx）にご記入ください。申請様式は、岐阜大学工学部附属応用気象研究センターのウェブサイトからダウンロードしてください。
- ・ 受講申請書には、申請3ヶ月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真を該当箇所に貼付してください。
- ・ 志望理由書には、志望理由（申請者のこれまでの学習・研究の状況。本プログラムへの期待。本プログラムの受講後に目指したい姿。）について具体的に記入してください。この志望理由書の内容を中心として1次審査を行います。

- ・ 受講要件等チェックリストには、受講申請資格、必須要件、および、推奨要件を満たしているかどうかを確認し、該当している場合にはチェックボックスにチェック☑を入れてください。
- ・ 申請ファイルは PDF 形式（パスワードなし）に変換してください。ファイルは様式ごとに分割する必要はありません。
- ・ 申請ファイルは、提出先に安全かつ確実に送付されるよう、事務局が発行する NII FILESENDER のゲストバウチャーにより提出していただきます。そのため、申請ファイルにはパスワードによる保護をかけないでください。

<注意事項>

- ・ 申請手続後の提出書類の内容変更は認められません。
- ・ メール添付による申請は受け付けません。
- ・ 書類不備の場合は申請を受け付けません。
- ・ 申請書類は返却いたしませんので、ご了承ください。

## 6. 受講者の選抜

気象データアナリスト養成プログラムの受講者を選抜するための審査を行います。

### (1) 選抜方法

受講申請書類およびオンライン面接（Microsoft Teams を使用）により厳正に審査し、プログラムの受講者を選抜します。面接は、令和 8 年 4 月 7 日（火）に各 10 分程度で実施します。ただし、面接は免除される場合があります。面接の有無、面接時間、方法等の詳細については令和 8 年 4 月 6 日（月）に個別に連絡します。

### (2) 面接時の本人確認

面接時に本人確認のため学生証等の公的身分証明書の提示をお願いします。そのため、Web カメラをオンにした状態（背景ぼかしなし）でオンライン面接に接続してください。

### (3) 選抜結果の通知

選抜結果は、令和 8 年 4 月 8 日（水）に、結果通知書を本人宛に発送するとともに、岐阜大学工学部附属応用気象研究センターのウェブサイト（<https://www1.gifu-u.ac.jp/~amet/wda.html>）に予め通知した受験番号のみ発表します。

## 7. 個人情報の取扱い

提出された申請書等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、審査システムに登録されますが、申請書等及び登録された個人情報は、岐阜大学工学部附属応用気象研究センターが責任を持って管理します。

受講資格審査終了後は、この個人情報を次のいずれかに該当する場合を除いて利用することはなく、第三者に開示することはありません。

- ① 合格者について、受講手続きに必要なデータを使用する場合。
- ② 受講者について、カリキュラム登録、成績管理等、本人が気象データアナリスト養成プログラムを受講する上で必要な事務にデータを使用する場合。
- ③ 受講者選抜に係る統計・調査・分析のために使用する場合（ただし、この統計・調査・分析に従事する者は特定の者のみに限定し、公表する場合、個人識別ができない状態で行います）。

## 8. 問い合わせ先

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

岐阜大学工学部附属応用気象研究センター事務局

TEL & FAX: 058-293-2439

E-mail: [amet@t.gifu-u.ac.jp](mailto:amet@t.gifu-u.ac.jp)

ウェブサイト : <https://www1.gifu-u.ac.jp/~amet/wda.html>